

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

- 学校教育目標の「三ツ沢の子」の実現に向けて、活力と魅力にあふれた学校づくりを目指します。
- ・基礎基本の定着を図ると共に、問題解決の過程を大切に教育活動を工夫し、互いに考えを深め合い粘り強く学び続ける姿勢を育てます。
 - ・子どものよりよい成長につながる豊かな体験（実感を伴った活動）を求め、人・まち・自然に働きかける学習を大切に教育実践を進めます。
 - ・教職員が相互に啓発・連携して、活気にあふれ、組織的・機能的に対応できる学校組織の確立を目指します。
 - ・学校運営協議会による学校評価を活かし、学校、家庭、地域が連携して子どもの成長を支える「まちと共に歩む学校づくり」を進めます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	教育活動の基盤として人権教育、道徳教育を位置づけ、子どもの自尊感情を育むと共に、相手を思いやる気持ちを育てる。	指針1 「道徳の時間」の充実 ①人権・児童指導・道徳・学校保健委員会等で、重点目標を共有し自他を思いやる気持ちを育てていく。 指針3 確かな人権感覚・意識の育成 ②人権週間や人権の年間の取組を見直し、内容を精選して行う。 指針2 体験学習の充実 ③たて割り活動や二大プロジェクトなど、取組の価値や目当てを大切に指導し、振り返りを通して自己の成長を実感できるようにする。
担当	児童指導部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

自己意識では、「一生懸命取り組んでいることがある」「自分にはよいところがある」と思っている子どもが多く、校外生活では、「まちの行事に参加している」子どもが多い。一方、「あいさつを自分からしている」子どもと「自分からしていない」と思っている子どもの二分化傾向が見られる。また、友達に優しい面も行動から多く見られるが、相手を傷つけるような言葉を意識せずに使っている場面が多く見られる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

- 人権・児童指導・道徳・学校保健委員会等で、重点目標を共有し自他を思いやる気持ちを育てていく。【視点1】
- ・学校の教育活動全体を通して行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。
 - ・全学級の道徳の授業公開を年1回以上行い、授業評価を行う。また、授業公開を通して中学校と理解を深める。
 - ・道徳教育について、家庭、地域に発信し、意識の啓発を図る。習得したことや育成されたことを家庭に伝える。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- 人権週間や人権の年間の取組を見直し、内容を精選して行う。【視点6】
- ・児童の実体験に根差した人権教育の教材を開発し、年間を通して指導を行う。
 - ・「相手も自分も大切に」を合言葉に、全ての教育活動を通して人権感覚を醸成する。
 - ・意図的に多様な価値観に触れる場面を設定し、多様な考え方について考えていけるようにする。

指針2 体験学習の充実

- たて割り活動や二大プロジェクト、ふれあい地域清掃など、取組の価値や目当てを大切に指導し、振り返りを通して自己の成長を実感できるようにする。【視点4】
- ・体験活動を充実させるための教材の吟味を行う。
 - ・体験を通して自分なりの思いや考えをもつこと、様々な考え方や価値観を学んでいけるようにする。
 - ・価値ある体験活動を通し、思いやりの心や規範意識、望ましい勤労観や職業観について考えていけるようにする。